

【水産】

◎主な配属先、業務内容

■本庁

水産課



- 水産資源の持続的な利用のため、漁業法や水産業協同組合法等に基づく許認可のほか、漁業と遊漁・遊漁船業との調整や資源管理の推進を支援
- 漁業の担い手確保、振興のための支援や新しい技術の普及を推進
- 「越前がに極」「越前がれい極」「若狭ぐじ極」等のブランド化や「若狭まはた」「ふくいサーモン」「小浜よっぱらいサバ」等の新たな養殖魚の流通拡大に関する企画・振興

流通販売課

- 農林水産物の地産地消や食育活動の推進
- 学校給食での地場産農林水産物の利用推進
- 農林水産物の輸出促進や販路開拓等の支援
- 水産業協同組合法等に基づく漁業協同組合等の検査業務



水産試験場



- 水産資源の評価調査や管理技術の研究、海洋環境観測、水産生物の増養殖技術の開発、疾病研究等
- 産学官連携による学術研究や産業支援

栽培漁業センター

- マハタ、トラフグ、ヒラメ等の養殖・放流用の種苗生産
- ナマコやバフンウニ等の大量生産技術の開発



内水面総合センター



- アユ種苗の生産と技術開発、ワカサギ等の資源増大に関する研究、河川等の漁場環境調査、淡水生物の生態調査や外来魚対策、疾病研究等

嶺南振興局

- 沿岸漁業等の生産性の向上や知識の普及
- 漁業者の自主的活動の支援

【水産】令和2年度採用



水産試験場 栽培漁業センター



児玉 敦也

(広島大学 生物圏科学研究科生物資源科学専攻 修了)

【主な担当業務】

- ・サバの養殖技術（卵から稚魚を育てる種苗生産技術や稚魚を大きく育てる養殖技術）の開発
- ・魚類防疫（養殖現場で発生した魚病の検査等）



◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 メールチェック、 飼育管理業務	8:45 養殖現場での サンプリング	10:00 サバ種苗のサン プル測定、生理活 性分析業務	12:00 昼休み	13:00 データ分析、 資料調整	16:00 庁内打合せ	17:15 業務終了
-------------------------------------	--------------------------	---------------------------------------	--------------	-------------------------	----------------	---------------

◎福井県職員を志望した理由

私は子供の頃から魚などの生き物に興味を持っており、水産関係の大学に進学しました。大学で水産学を学び、その知識を活かして仕事をしたいと考えようになりました。そしてホームページなどで情報収集をするうちに、幼いころからなじみのあった福井県で専門性を活かして仕事ができると考え、水産職を受験しました。福井県には知名度の高い水産物があることや現場との距離が近いと感じたことが福井県職員を選択するきっかけになりました。

◎仕事をはじめて感じていること

私はサバの養殖技術開発を担当していますが、はじめのうちは養殖や種苗生産についての知識が乏しく苦労することも多くありました。しかし、様々な機関や漁業者と協力して新しいことに取り組めることにやりがいを感じています。また、水産職といっても配属先によって担当する業務は多岐にわたるため、いろいろなことに柔軟に対応する能力が仕事をしていくうえで重要だと思います。

◎魅力・やりがい

水産職では水産業を活性化するために様々な業務を行っています。福井県には越前がにをはじめとした魅力的な水産物が数多くあり、地域ごとにも特色があります。それらを活かして地域振興に関われることが福井県の水産職の魅力だと思います。また、実際に現場に出て様々な意見を聞きながら、現場のために仕事ができることにやりがいを感じます。

◎採用試験対策

専門試験については水産白書や水産ハンドブックをもとに勉強するのが効率的だと思います。また、大学の専門科目の内容がそのまま試験内容につながるの、普段の勉強が大切になります。時事問題も出題されるので、普段から関係するニュースなどに興味を持っておくことも良いと思います。教養試験については出題範囲が幅広いので、早めに対策をするほうが良いと思います。

◎後輩たちへ一言

福井県の水産職は、地域の特色を活かして水産振興のために様々な業務を行っており、水産業や魚に興味がある人にとっては非常に魅力的な仕事だと思うので、一緒に頑張りましょう！！